

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.33】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は4人家族のモニターです。

電気生ごみ処理機の使用によるごみの減量の目的について質問したところ、昨今の物価上昇から、まずは目先の経済的な効果、すなわち、少しでもごみ袋の使用量を減らしたいとの回答でした。

実際には、処理器を使うことでごみの体積が減るとともに臭いが気にならなくなる為、これまでは生ごみの臭いを基準にごみ収集日にその都度排出していたのが、今はごみ袋が満杯になったタイミングで排出できるため、排出頻度も減りとても良い状況だそうです。

また、長期的目線としては、環境に与える影響の改善も期待しているそうです。

なお、使用上においての不満な点として、処理後に機器を開けた時に瞬間的に漂う臭いにはいまだに抵抗があると報告がありました。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声を参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp